

(資 料 配 付)

作成年月日	令和3年4月12日
作成部局課室名	企画県民部広聴課 ビジョン課

令和2年度県民意識調査「兵庫の未来を考える」の調査結果 一部抜粋

令和2年度県民意識調査は、毎年調査項目に加え「兵庫の未来を考える」を年次テーマに調査を実施し、結果をとりまとめました。

調査結果については、今年度策定予定の新しい長期ビジョンの検討に役立てます。

1 調査概要

- (1) 調査対象者：県内に居住する満20歳以上の男女個人
 (2) 対象者数：5,000人
 (3) 調査時期：令和2年11月19日(木)～12月11日(金)
 (4) 回収数(率)：3,041人 (60.8%)
 (5) 設問構成：年次テーマ項目と毎年調査項目により構成

		回収数	回収率
総数		3,041	60.8%
性別	男性	1,191	50.0%
	女性	1,795	68.6%
	不明	55	—
年齢別	20代	242	43.5%
	30代	326	51.1%
	40代	509	60.3%
	50代	506	65.6%
	60代	517	64.3%
	70代	596	72.9%
	80歳～ 不明	297 48	52.1% —

①年次テーマ項目

- ア お住まいの地域
 イ 日々の暮らし
 ウ 将来への期待

②毎年調査項目

- ア 生活満足度、イ 生活向上感、ウ 大地震発生の可能性、
 エ 地域活動への参加、オ 県政への関心、カ 県政への評価、
 キ 県民局・県民センターの認知度

2 調査結果の概要

(1) 年次テーマ項目

項目	設問及び調査結果（年次テーマ項目）
お住まいの地域	<p>居住地域の生活環境の満足度</p> <p>問1 あなたは、お住まいの地域の生活環境についてどう感じていますか。1つ選んで番号に○をつけてください。</p> <p>・ 「満足(18.6%)」と「まあ満足(55.2%)」を合わせた『満足』は前回調査(H29年度県民意識調査「2030年の兵庫の姿」)より1.6ポイント増加し、73.8%となっている。</p> <p>■ 満足 ■ まあ満足 ■ どちらともいえない ■ やや不満 ■ 不満 ■ 無回答</p> <p>『満足』・・・ R2 満足(18.6%) + まあ満足(55.2%) = 73.8% H29 満足(17.4%) + まあ満足(54.8%) = 72.2%</p>

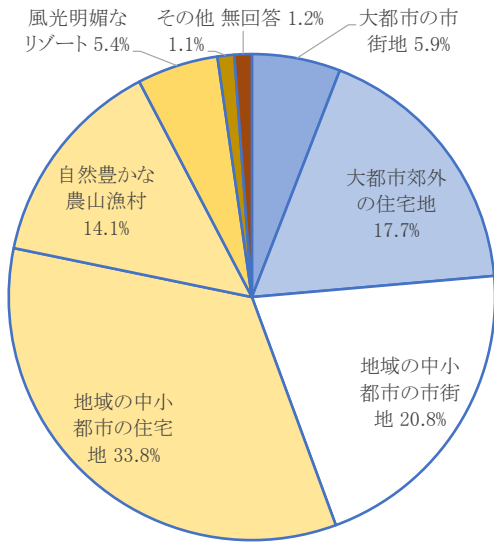
お住まいの地域

設問及び調査結果（年次テーマ項目）

お住まいの地域

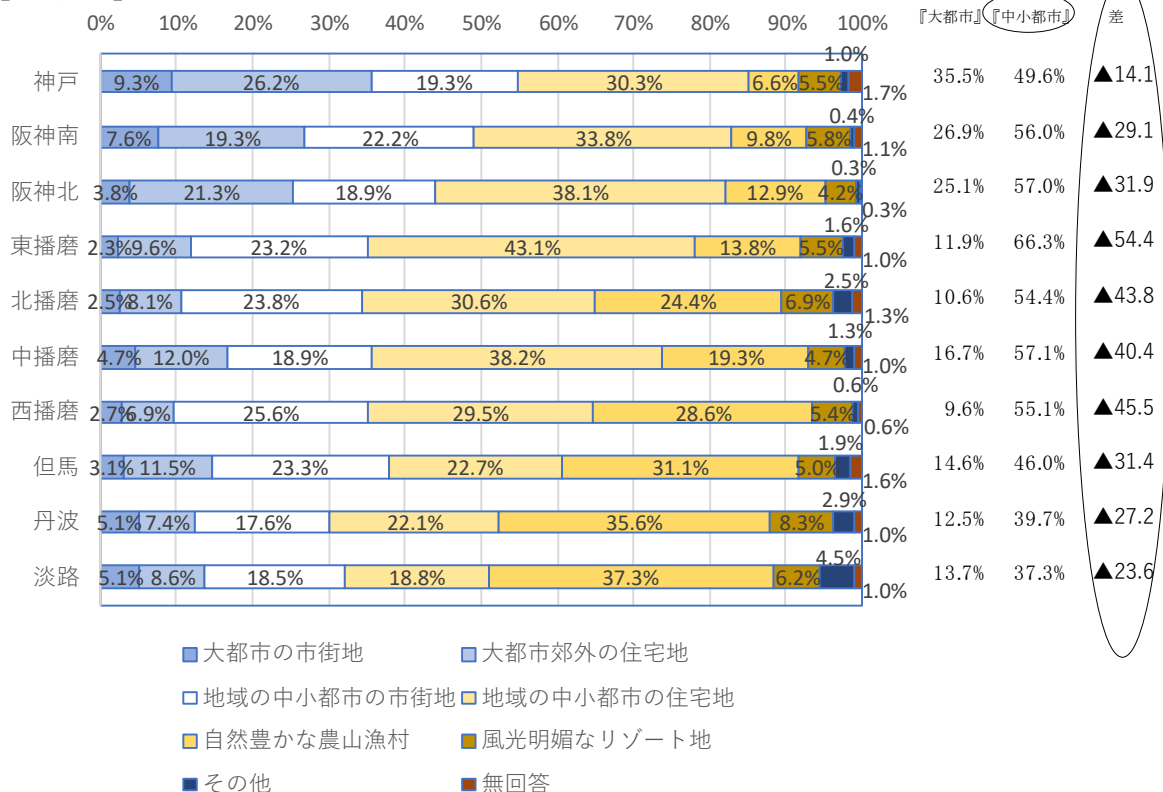
問3-3 あなたが暮らす場所を好きに選べるとしたら、どこに住みたいですか。次の中からあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 『地域の中小都市』が半数以上（54.6%）となっており、すべての地域で『地域の中小都市』が『大都市』を上回っている。



『大都市』 23.6%
 = 市街地 (5.9%) + 郊外の住宅地 (17.7%)
 『地域の中小都市』 (54.6%)
 = 市街地 (20.8%) + 住宅地 (33.8%)

【地域別】



阪神地域（阪神南及び阪神北の結果）

設問及び調査結果（年次テーマ項目）

お住まいの地域

居住したい場所

問3-3 あなたが暮らす場所を好きに選べるとしたら、どこに住みたいですか。次の中からあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

いずれの世代でも『地方の中小都市』が『大都市』を上回っており、世代別では20代が最もその差が小さくなっている。

また20代では「風光明媚なリゾート地」が他の世代に比べ、突出している。

『大都市』＝市街地＋郊外の住宅地

『地方の中小都市』＝市街地＋住宅地

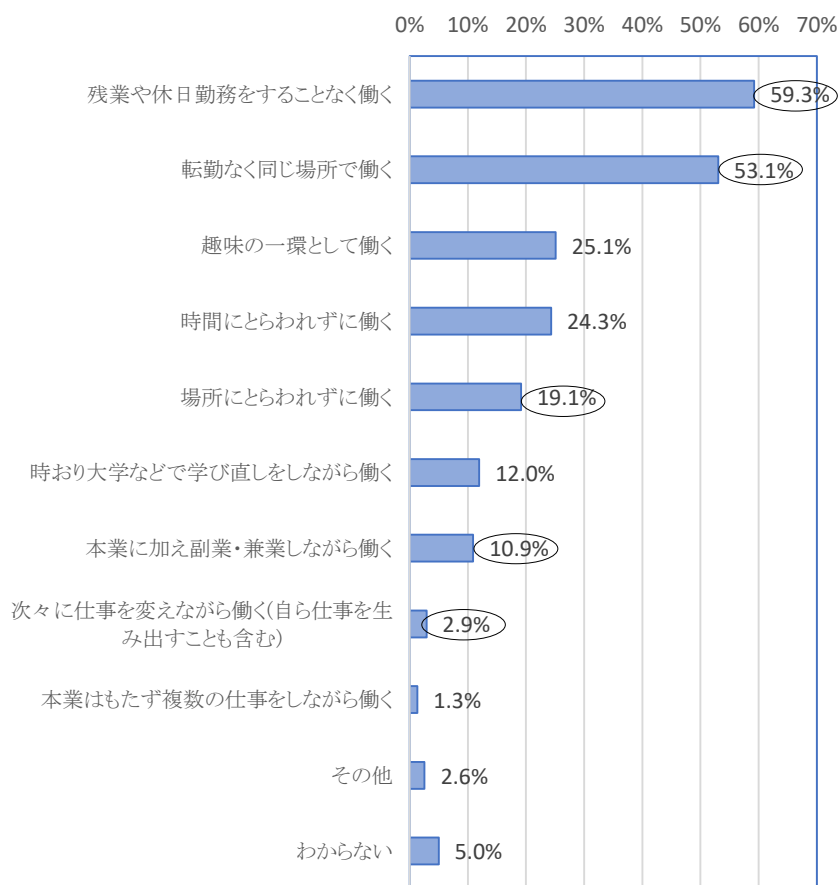
年代別	大都市の市街地	大都市郊外の住宅地	地域の中小都市の市街地	地域の中小都市の住宅地	農山漁村	自然豊かなリゾート地	風光明媚なリゾート地	その他	無回答	『大都市』	『地方の中小都市』	差
20代	9.3%	25.6%	23.3%	20.9%	4.7%	16.3%	0.0%	0.0%	0.0%	34.9%	44.2%	-9.3%
30代	5.1%	27.1%	20.3%	32.2%	8.5%	5.1%	1.7%	0.0%	0.0%	32.2%	52.5%	-20.3%
40代	3.9%	24.3%	17.5%	32.0%	12.6%	7.8%	1.0%	1.0%	1.0%	28.2%	49.5%	-21.3%
20～40代	5.4%	25.4%	19.5%	29.8%	9.8%	8.8%	1.0%	0.5%	0.5%	30.8%	49.3%	-18.5%
50代	7.5%	20.4%	17.2%	39.8%	10.8%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	27.9%	57.0%	-29.1%
60代	10.3%	23.0%	20.7%	34.5%	8.0%	1.1%	0.0%	2.3%	2.3%	33.3%	55.2%	-21.9%
70代	1.8%	10.7%	26.8%	45.5%	13.4%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	72.3%	-59.8%
80代以上	5.8%	17.3%	17.3%	38.5%	17.3%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	23.1%	55.8%	-32.7%

設問及び調査結果（年次テーマ項目）

理想的な働き方

問6-2 あなたにとってどのような働き方が理想的ですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- ・ 「残業や休日出勤をすることなく働く（59.3%）」と「転勤なく同じ場所で働く（53.1%）」の2つが特に多くなっている。
- ・ 「場所にとらわれずに働く（19.1%）」「本業に加え副業・兼業しながら働く（10.9%）」「次々に仕事を変えながら働く（2.9%）」など新しい働き方は多くない。



阪神地域（阪神南及び阪神北の結果）

設問及び調査結果（年次テーマ項目）

日々の暮らし

理想的な働き方

問6-2 あなたにとってどのような働き方が理想的ですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

どの年代も『残業や休日勤務をすることなく働く』『転勤なく同じ場所で働く』の2つが特に多くなっている。

『本業に加え、副業・兼業しながら働く』『次々に仕事を変えながら働く（自ら仕事を生み出すことも含む）』など新しい働き方は多くない。

『場所にとらわれずに働く』は年代別では20代(34.9%)が最も多くなっている。

『趣味の一環として働く』は80代(40.4%)で最も多くなっている。

		残業や休日勤務をすることなく働く	転勤なく同じ場所で働く	場所にとらわれずに働く	時間にとらわれずに働く	(自ら仕事を生み出すことも含む) 次々に仕事を変えながら働く	本業に加え副業・兼業しながら働く	本業はもたず複数の仕事をしながら働く	趣味の一環として働く	時おり大学などで学び直しをしながら働く	その他	わからない
年代別	20代	81.4%	53.5%	34.9%	25.6%	9.3%	4.7%	4.7%	25.6%	9.3%	0.0%	0.0%
	30代	78.0%	54.2%	25.4%	32.2%	3.4%	13.6%	0.0%	18.6%	5.1%	3.4%	0.0%
	40代	71.8%	55.3%	19.4%	25.2%	1.0%	10.7%	1.0%	27.2%	15.5%	1.0%	1.0%
	20~40代	75.6%	54.6%	24.4%	27.3%	3.4%	10.2%	1.5%	24.4%	11.2%	1.5%	0.5%
	50代	60.2%	60.2%	22.6%	21.5%	1.1%	12.9%	1.1%	20.4%	14.0%	2.2%	2.2%
	60代	57.5%	51.7%	23.0%	27.6%	3.4%	8.0%	0.0%	21.8%	16.1%	3.4%	4.6%
	70代	44.6%	53.6%	17.9%	21.4%	4.5%	4.5%	0.9%	17.9%	8.0%	8.9%	8.0%
	80代以上	28.8%	57.7%	21.2%	23.1%	1.9%	7.7%	1.9%	40.4%	5.8%	5.8%	17.3%

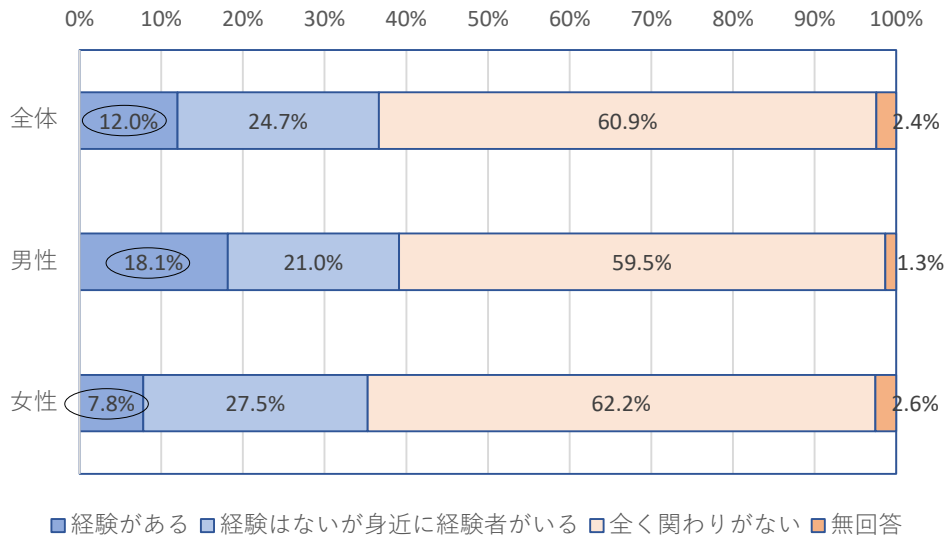
項目
日
々
の
暮
ら
し

設問及び調査結果（年次テーマ項目）

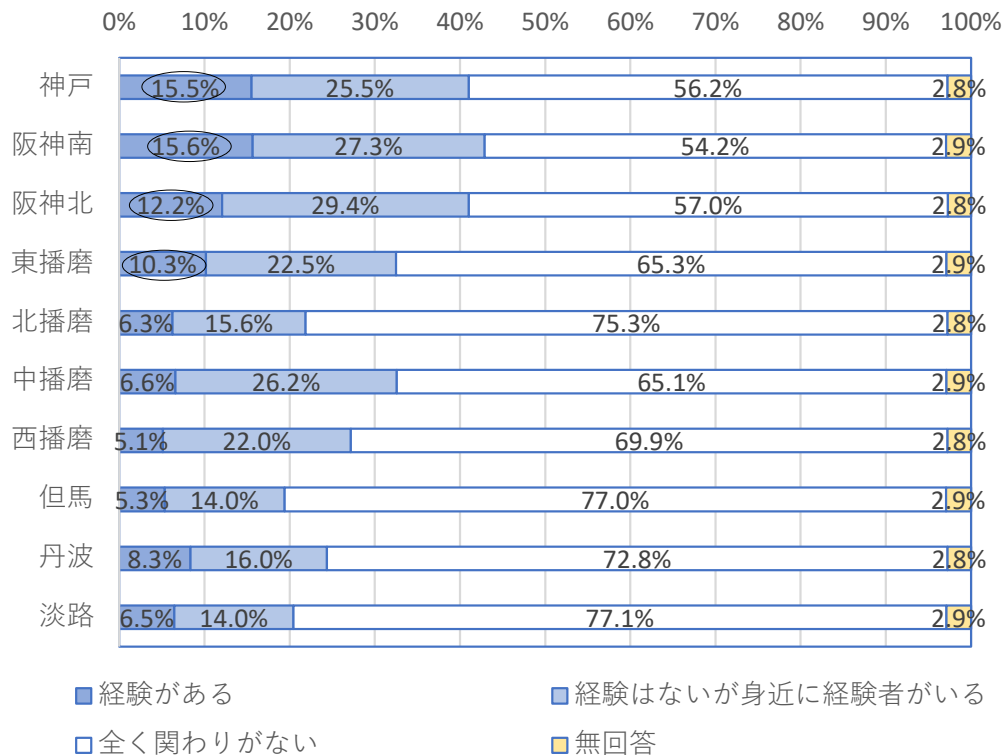
テレワークの経験

問6-3 現在、場所にとらわれない働き方であるテレワークが注目されています。テレワークの経験について、当てはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- ・ 全体で経験者は12.0%と多くない。性別では女性より男性が多く、地域別では、神戸・阪神、東播磨で比較的多くなっている。



【地域別】

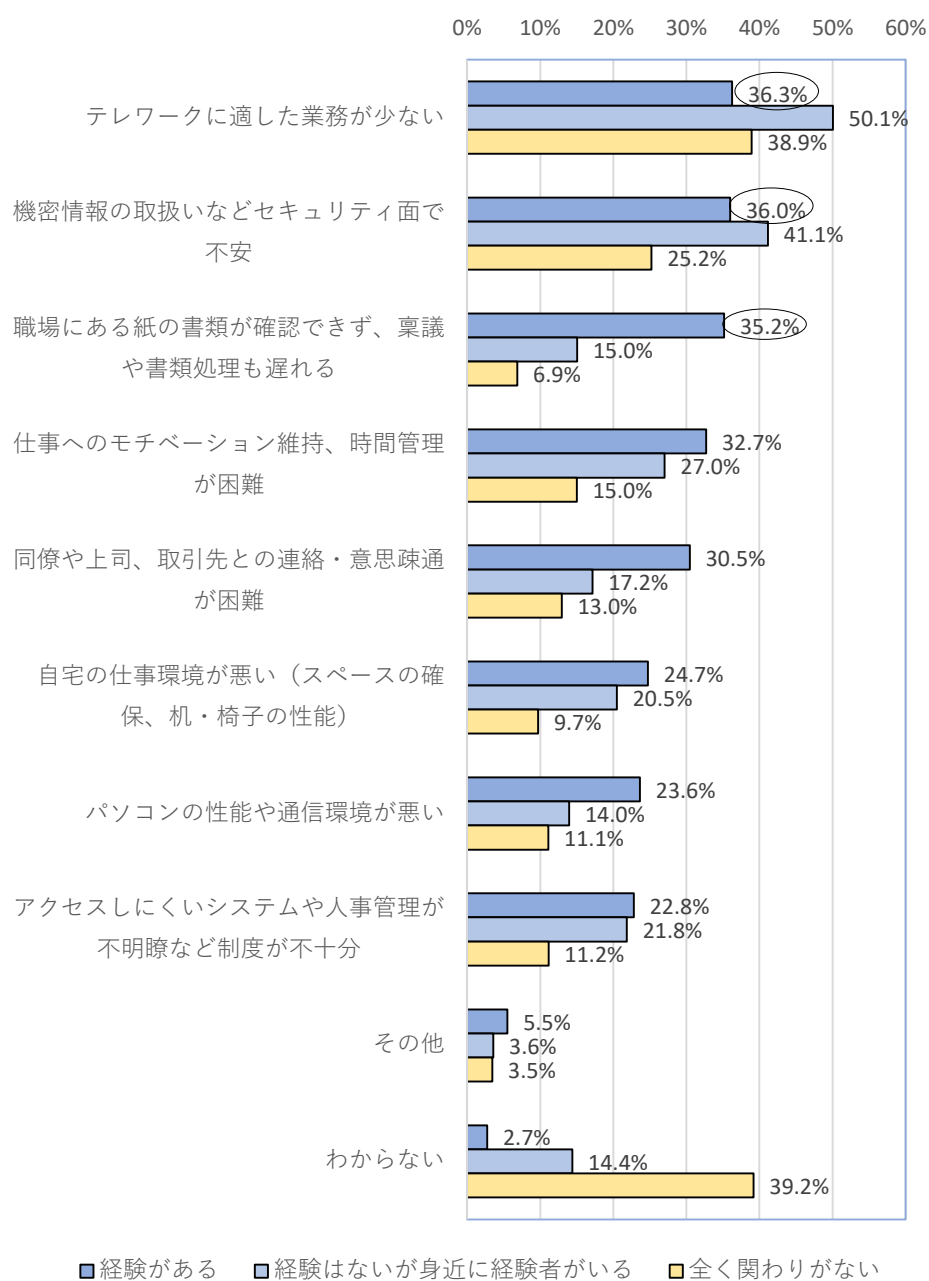


設問及び調査結果（年次テーマ項目）

日テレワークの課題

問6-4 テレワークを進めるうえでの課題は何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

・ 経験者では、「適した業務が少ない（36.3%）」が最も多く、次いで「機密情報の取扱いなどセキュリティ面で不安（36.0%）」「職場にある紙の書類が確認できず、稟議や書類処理も遅れる（35.2%）」となっている。



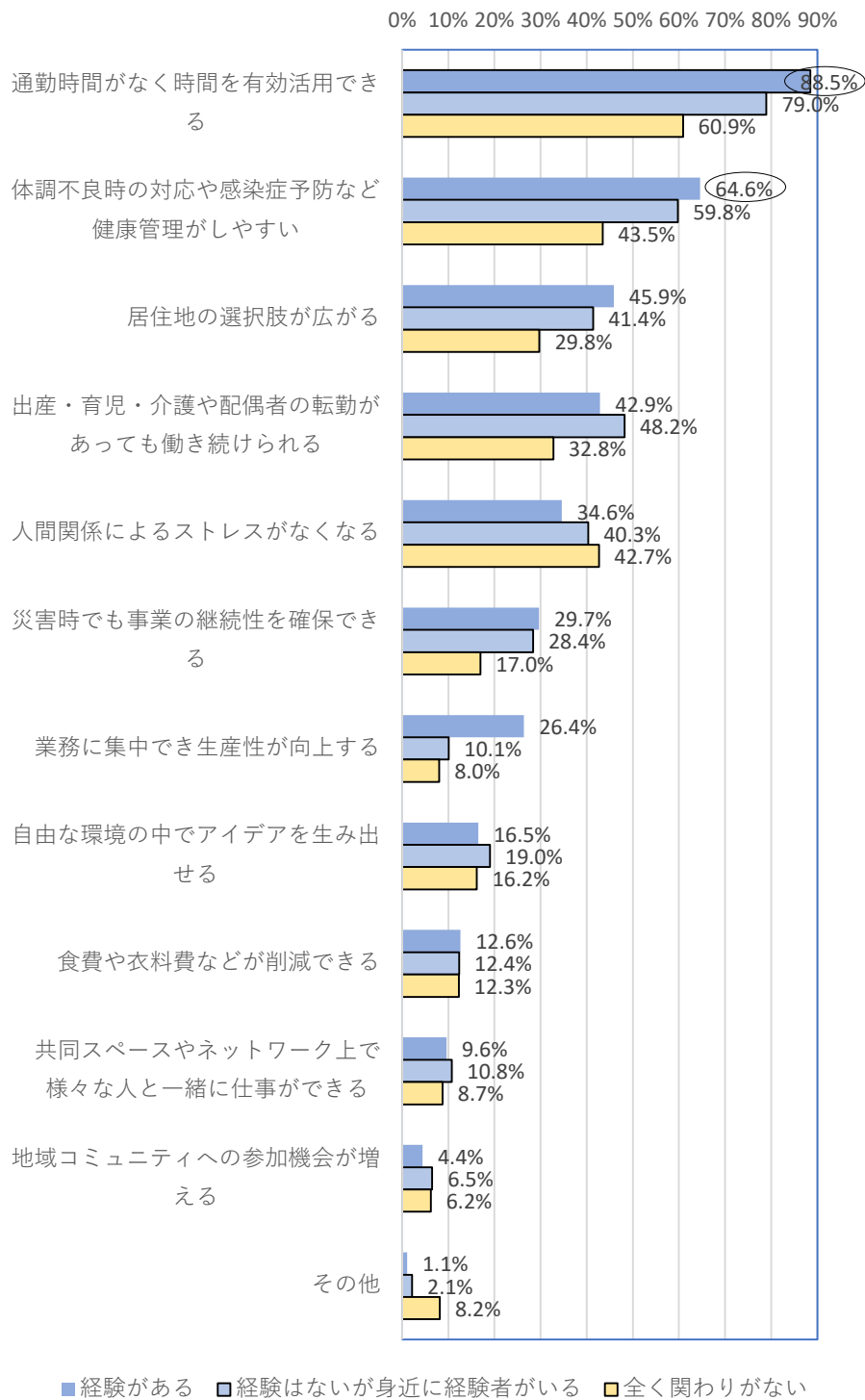
項目

設問及び調査結果（年次テーマ項目）

日テレワークの普及による変化

問6-6 テレワークの普及による働き方や生活の変化に期待することについて、あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

・ 経験者では、「通勤時間がなく時間を有効活用できる（88.5%）」が最も多く、次いで「体調不良時の対応や感染症予防など健康管理がしやすい（64.6%）」となっている。



設問及び調査結果（年次テーマ項目）

将来への期待 **これからの学校教育で大切なこと**

問7-1 これからの学校教育について、あなたが大切だと思うことはどのようなことですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 「他者への思いやりや、多様な価値観を尊重できること（70.4%）」が最も多く、次いで「基礎的・基本的な学力を身につけること（50.4%）」となっている。

項目	割合
他者への思いやりや、多様な価値観を尊重できること	70.4%
基礎的・基本的な学力を身につけること	50.4%
目標に対して粘り強くやり抜く力を育むこと	32.9%
社会の課題について自ら考える力を育むこと	31.8%
外国語や外国文化に触れ、国際的な理解を深めること	30.5%
常識にとらわれない創造力を育むこと	19.0%
郷土の自然や文化の素晴らしさに触れること	17.1%
情報通信の技術に親しみ、役立てられるようになること	12.8%
最先端技術の知識や技能を学ぶこと	10.9%
その他	1.9%

将来への期待 **取り組むべき教育の手法**

問7-2 これから重点的に取り組むべき教育の手法について、次の中からあてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 「対話を重視した教育（55.9%）」と「体験学習（50.9%）」の2つが特に多くなっている。

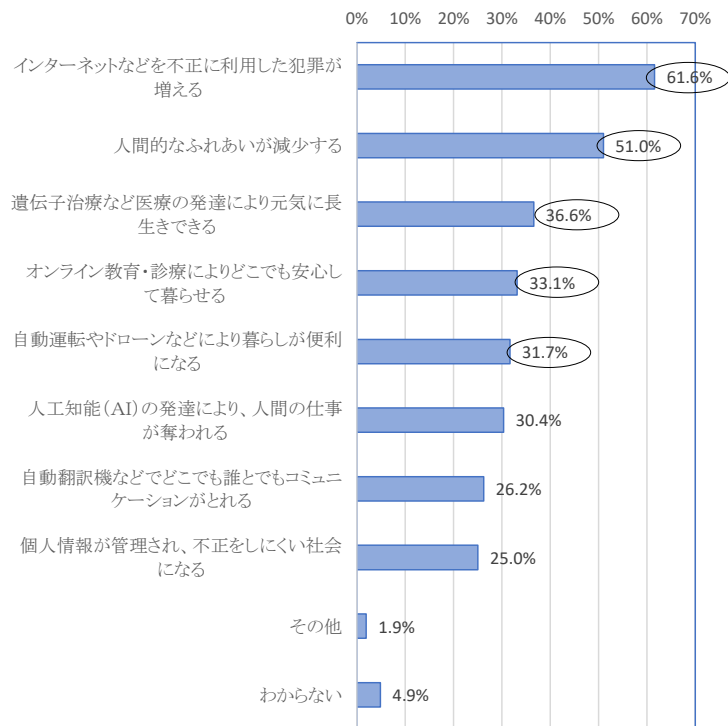
項目	割合
対話を重視した教育	55.9%
体験学習	50.9%
少人数学級	36.6%
外部人材の活用	32.6%
オンライン教育	27.6%
小学校における教科担任制	21.4%
学校間・学年間の連携	17.3%
その他	3.0%

項目 設問及び調査結果（年次テーマ項目）

将来への期待 科学技術の発展

問8 あなたは科学技術の発展によってもたらされる社会の変化について何に期待し、あるいは不安を感じますか。次の中からあてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

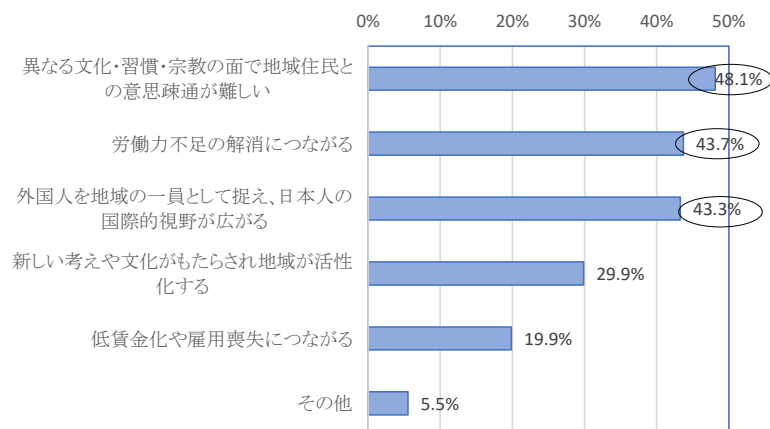
- ・ 「インターネットなどを不正に利用した犯罪が増える（61.6%）」「人間的なふれあいが減少する（51.0%）」と不安の側面が上位を占めている。
- ・ 「遺伝子治療など医療の発達により元気に長生きできる（36.6%）」「オンライン教育・診療によりどこでも安心して暮らせる（33.1%）」「自動運転やドローンにより暮らしが便利になる（31.7%）」と期待の側面も3割を超えている。



将来への期待 在留外国人

問9 今後、在留外国人が増えることが見込まれますが、お住まいの地域で在留外国人が増えることについてどのような印象をお持ちですか、あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- ・ 「地域住民との意思疎通が難しい(48.1%)」が最も多く、次いで「労働力不足の解消(43.7%)」「国際的視野が広がる(43.3%)」となっている。



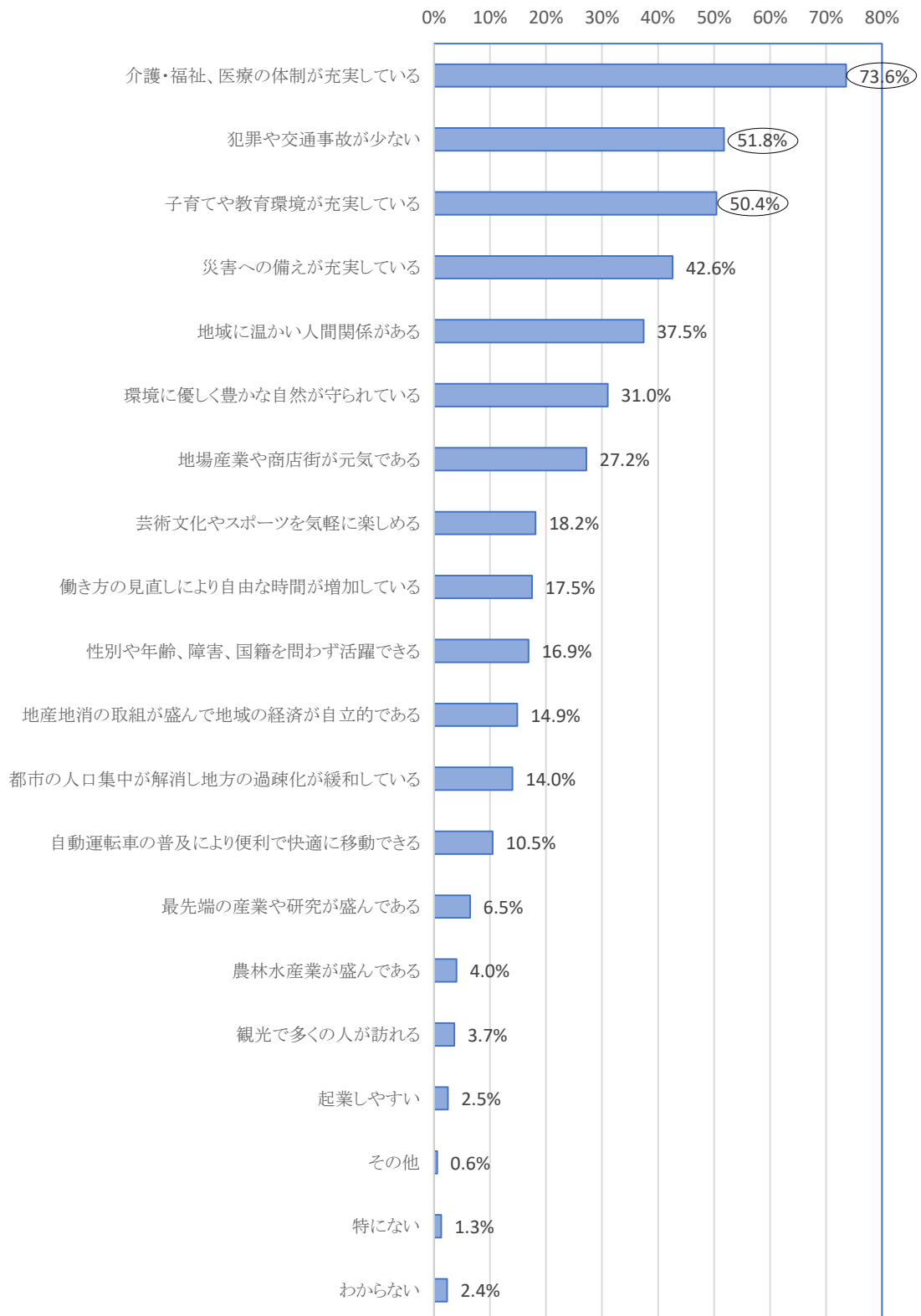
項目
将来への期待

設問及び調査結果（年次テーマ項目）

地域社会の将来像

問10 あなたが特に期待する地域社会の将来像はどれですか。次の中からあてはまるものを5つまで選んで番号に○をつけてください。

- ・ 「介護・福祉、医療の体制が充実している（73.6%）」が最も多く、次いで「犯罪や交通事故が少ない（51.8%）」「子育てや教育環境が充実している（50.4%）」となっている。



阪神地域（阪神南及び阪神北の結果）

設問及び調査結果（年次テーマ項目）

将来への期待

地域社会の将来像

問 10 あなたが期待する地域社会の将来像はどれですか。次の中からあてはまるものを5つまで選んで番号に○をつけてください。

男女を通じて、『介護・福祉、医療の体制が充実している』『子育てや教育環境が充実している』『犯罪や交通事故が少ない』の順に回答が多くなっている。

また、『災害への備えが充実している』『地域に温かい人間関係がある』『環境に優しく豊かな自然が守られている』の回答も多くなっている。

	子育てや教育環境が充実している	介護・福祉、医療の体制が充実している	性別や年齢、障害、国籍を問わず活躍できる	地域に温かい人間関係がある	働き方の見直しにより自由な時間が増加している	芸術文化やスポーツを気軽に楽しめる	観光で多くの人が訪れる	起業しやすい	最先端の産業や研究が盛んである	地場産業や商店街が元気である	農林水産業が盛んである	地産地消の取組が盛んで地域の経済が自立的である	環境に優しく豊かな自然が守られている	自動運転車の普及により便利で快適に移動できる	災害への備えが充実している	犯罪や交通事故が少ない	都市の人口集中が解消し地方の過疎化が緩和している	
合計	52.4%	73.4%	20.1%	36.5%	21.6%	20.1%	2.7%	1.6%	5.9%	25.7%	2.3%	12.5%	34.2%	9.8%	45.5%	55.3%	13.0%	
性別	男計	49.3%	69.9%	16.7%	32.1%	25.8%	19.1%	2.9%	2.9%	9.1%	24.9%	2.4%	15.8%	32.5%	12.4%	39.2%	51.2%	16.7%
	女計	55.5%	76.7%	22.4%	39.8%	19.8%	20.6%	2.4%	0.9%	4.1%	26.5%	2.4%	10.3%	35.7%	8.3%	50.4%	58.4%	10.9%
	不明	23.1%	46.2%	15.4%	23.1%	0.0%	23.1%	7.7%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	15.4%	23.1%	7.7%	15.4%	38.5%	7.7%
年代別	20代	67.4%	51.2%	34.9%	23.3%	60.5%	14.0%	7.0%	0.0%	9.3%	18.6%	2.3%	7.0%	18.6%	4.7%	46.5%	62.8%	14.0%
	30代	72.9%	59.3%	20.3%	28.8%	32.2%	15.3%	1.7%	0.0%	10.2%	20.3%	3.4%	11.9%	32.2%	11.9%	57.6%	71.2%	15.3%
	40代	61.2%	69.9%	20.4%	44.7%	34.0%	11.7%	0.0%	2.9%	7.8%	25.2%	1.0%	12.6%	38.8%	11.7%	51.5%	64.1%	6.8%
	20~40代	65.9%	62.9%	23.4%	35.6%	39.0%	13.2%	2.0%	1.5%	8.8%	22.4%	2.0%	11.2%	32.7%	10.2%	52.2%	65.9%	10.7%
	50代	44.1%	86.0%	19.4%	30.1%	18.3%	21.5%	2.2%	3.2%	3.2%	28.0%	2.2%	15.1%	35.5%	7.5%	40.9%	64.5%	15.1%
	60代	51.7%	77.0%	18.4%	34.5%	9.2%	27.6%	0.0%	2.3%	3.4%	31.0%	3.4%	13.8%	31.0%	11.5%	54.0%	56.3%	10.3%
	70代	47.3%	77.7%	19.6%	39.3%	10.7%	27.7%	3.6%	0.0%	3.6%	25.0%	0.9%	8.0%	39.3%	8.9%	38.4%	36.6%	16.1%
	80歳以上	32.7%	84.6%	15.4%	53.8%	7.7%	19.2%	7.7%	1.9%	9.6%	28.8%	3.8%	19.2%	36.5%	13.5%	32.7%	40.4%	19.2%
不明	25.0%	41.7%	8.3%	16.7%	0.0%	8.3%	1.0%	0.0%	0.0%	16.7%	8.3%	16.7%	16.7%	0.0%	25.0%	33.3%	0.0%	
				1位			2位											
								3位										